

Point 1

4つの領域で「生きた経営学」が学べる。

経営学は実践的な学問であり、理論と実践の結びつきが大切です。ヒト、モノ、カネ、情報に合わせて4つの領域を学び、1年次はすべての領域を、そして2年次からはゼミナールで学びの「柱」を決めていきます。また企業や地域とのコラボレーションやアクティブ・ラーニング、グループワーク等を通じて、学んだことをリアルに実践する機会を豊富に用意しています。



1 | 戦略経営

企業が持続的競争優位を確立し発展するために、最適な組織づくりや人材育成、経営システムの構築方法を考えます。

2 | マーケティング

市場調査、商品開発、ブランド構築、流通戦略、広告宣伝等のマーケティング手法を学び、売れる仕組みづくりを考えます。

3 | 会計

企業運営にあたり、お金の観点から経営を考える分野です。資金集めや運営コスト、利益の出し方を考えます。

4 | 情報システム学

企業の経済活動における、ITを駆使した情報分析や、業務の効率化、ITをビジネスに活用する方法等を考えます。

学びのキーワード

#産学連携 #海外展開 #地域連携 #大学間交流
#理論研究 #資格取得 #市場調査 #商品開発 #情報分析

「共創」が学びのコンセプト

年齢や性別、人種等の垣根を越えて多様な他者と協力し合い、ビジネスや社会に新しい価値をつくることをコンセプトにしています。産学連携（東京のと賣ら中でビジネスを学ぶ）、地域連携、グローバル連携、大学連携等、実際のビジネスプロジェクトや研究でも「共創」を体験できる場が多くあります。



身につく知識やスキル

企業や団体で即戦力となるビジネスの知識やスキル、人々をまとめあげ、世の中の変化に合わせて組織を適応させていく能力。そして社会的課題に向き合い、企業や団体を起こして成長させるのに必要な能力が身につきます。

- ① 経営(学びの領域)に関する知識とスキル
- ② 組織のなかで生き抜く力(対応力、現場力)
- ③ 考え抜く力(思考力)
- ④ 人間関係能力

1年次から①はがっちり、②～④は2年次からのゼミナールでしっかり養います。本来、就職してから学ぶことを学生のうちに学ぶので、社会人になってからのスタートが違います。

「共創力」を身につけた心豊かな産業人へ。



経営学部ホームページもご覧ください。

www.ris.ac.jp/keiei/

Point 2

めんどろみのいい先生や先輩がいる。

少人数教育の「ゼミナール」

経営学部のゼミナールは、先生との距離感が近いのが自慢です。理論ががちり学ぶゼミナール、アクティブ・ラーニングで実践を重視するゼミナール、資格取得をめざすゼミナール等、さまざまなカラーのゼミナールがあります。

上級生による「オリエンテーション」

入学者を班分けし、班ごとにオリエンテーション実行委員会の先輩が履修指導や生活相談等を行います。それによって安心して授業を履修して受講することができ、また友達づくり等、学生生活の面でも「めんどろみの良さ」を発揮します。

社会で必要な「共創力」を育む

立正大学経営学部は、教育方針に「共創力(共に創る力)」を掲げています。社会に出ると、一人では生きていけない。誰かと力を合わせて智恵を出し合って、何かを成し遂げながら生活していきます。この「誰かと一緒に」は、これからの時代にとっても大切なこと。2年次からはじまる少人数ゼミ教育でも、組織のしくみだけではなく、そこで働く人や喜ぶ人の気持ち、人と人の関係を学び、お互いを尊敬しながら共存する環境をつくる「共創」の知識と能力を養うことを目標にしています。その学びのなかでも、与えられた問題の答えを探すだけでなく、自分たちで問題を発見して議論して答えを導いていくのが特徴です。

カリキュラム

卒業基準単位数: 128 教養の科目: 26 専門科目: 102

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	経営学の4つの基礎分野を修得 「戦略経営」「マーケティング」「会計」「情報システム学」の4つの分野の基礎を学びます。	ゼミナール活動から知識をインプット 2年次からのゼミナールで、論文の執筆、調査、討論、フィールドワーク等で知識を獲得します。	アウトプットし成果を出す 海外インターンシップや企業との共同研究等で、知識を実践と融合し、成果を出します。	就職活動を行い卒業論文を作成する 2年間で培った能力を最大限に発揮し、卒業論文を作成、教員指導のもと就職活動も行います。
必修科目	・学修の基礎Ⅰ ・学修の基礎Ⅱ[戦略経営] ・学修の基礎Ⅲ[経営情報] ・学修の基礎Ⅳ[会計] ・簿記原理Ⅰ・Ⅱ ・情報処理演習Ⅰ・Ⅱ ・英語Ⅰ	・経営データ処理演習Ⅰ・Ⅱ ・経営管理論Ⅰ・Ⅱ		
選択必修科目	・アジア言語Ⅰ・Ⅱ[中国語] ・アジア言語Ⅰ・Ⅱ[ハンガール] ・アジア言語Ⅰ・Ⅱ[日本語] ・ビジネス英会話Ⅰ ・日本語演習Ⅰ	・経営総合特論1～3		・卒業論文 ・企業研究1・2
選択科目	・経済学 ・社会学 ・心理学Ⅰ ・心理学Ⅱ ・商法 ・法学 ・民法 ・近代日本経済史 ・金融論 ・高齢化とキャリア ・産業論 ・自然科学概論 ・社会科学方法論 ・社会学社論 ・情報と社会:モラル・知的所有権 ・比較宗教論 ・スキル開発演習3 ・スキル開発演習4 ・実務演習 ・上級簿記 ・戦略経営論 ・情報システム論 ・初級財務会計 ・マーケティングマネジメント	・ビジネス英会話Ⅱ ・日本語演習Ⅱ ・ゼミナールⅠ・Ⅱ ・インターンシップ ・スキル開発演習1・2 ・スキル開発演習5～7 ・コミュニケーション特論5～12 ・ケーススタディ ・企業論 ・財務管理論 ・産学連携 ・組織行動論 ・情報システム設計論 ・情報システム設計演習 ・管理会計Ⅰ・Ⅱ ・中級財務会計Ⅰ・Ⅱ ・原簿記論Ⅰ・Ⅱ ・消費者行動論[基礎]・[応用] ・マーケティングリサーチ入門・応用 ・情報セキュリティ概論 ・セキュリティマネジメント	・ゼミナールⅢ・Ⅳ ・卒業論文1・2 ・コミュニケーション特論1～4 ・マネージメント ・法民法 ・ビジネスコミュニケーション ・経営哲学 ・企業倫理 ・コミュニケーション特論 ・経営学特論 ・比較経営論 ・経営学概論 ・企業倫理 ・財務管理 ・産学連携 ・経営学特論Ⅰ ・人的資源管理Ⅰ・Ⅱ ・情報システム1～20 ・O&P演習 ・情報処理演習Ⅰ ・マーケティング特論3:4 ・中小企業論Ⅰ ・就職指導	・フィールドワーク

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

「チカラがつく」

Point
3

ウィズコロナ・アフターコロナの学びに対応。

一人に1台PCを配付

大学から最新型のノートPCを一人に1台配付します。Microsoft Officeを標準インストールし、オンライン授業やレポート作成、そしてプレゼンテーションにも即対応。4年間無償で修理サービスも受けられるので、学生生活全般にわたって学びをバックアップします。



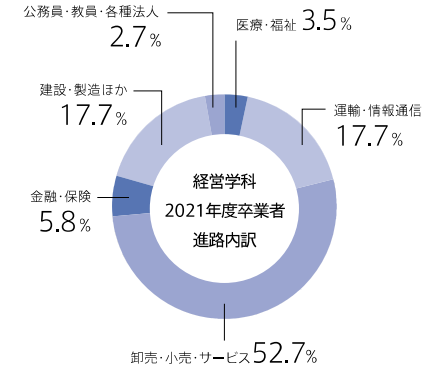
情報処理技術の修得

社会で求められる情報処理技術を修得するための、専門的な授業も開講しています。会社の業務でよく使用される「オフィスソフト」の操作スキルを証明するMicrosoft Office Specialist(マイクロソフト オフィス スペシャリスト:通称MOS)の資格合格率は、95%以上を誇ります。



経営学科独自の就職サポート

あるゼミでは、学生が主体となって「女性の管理職を増やすための研修プロジェクト」を企業に提案し、研修内容の立案、講師の手配、研修当日の進行等も学生が担当しました。この研修を受けた企業の女性社員は、実際に社内で改善提案を策定し、社長をはじめとする経営幹部に提案・実行されました。改善提案の実行を通じて、女性社員の皆さまは管理職に就くことに対して自信をつけられました。このプロジェクトから得た経験を就職活動に生かした学生は、大手のコンサルティング会社から内定をいただくことができました。大学で学んだ知識を使うさまざまな「実践の場」があることが、経営学科独自の就職サポートにつながっています。



VOICE

学生インタビュー

ゼミナールで多くのビジネスパーソンと関わった経験を生かし、経営者に寄り添うことのできるコンサルタントをめざします。

私が2年次から所属しているゼミナールでは、1学年15名程度という少人数で約3年間じっくり学ぶことができます。外部のビジネスプレゼンテーション大会での優勝を目標に日々研究しており、その研究報告を週に1度の授業で行うためプレゼン力が身につきます。3年次の班では、「女性社員のキャリアアップを支援する研修」について研究しました。この研修は、「管理職一歩手前の女性社員が自ら改善提案を策定し、社長をはじめとする幹部社員に提案するもの。それを共同プロジェクトとしてお手伝いすることを通じて、ビジネスパーソンと積極的に関わり、主体的かつ実践的に学ぶことができました。時には研究が思うように進まず、壁にぶつかることもありましたが、仲間と協力し、乗り越えることで協調性を高めることができました。また、少人数制であることで、研究だけでなく就職活動のことまで先生にも相談しやすい環境にあると感じています。私自身、大手コンサルティング会社から内定をいただくことができたのは、座学で得た経営学の知識を使うさまざまな実践の場があったからこそだと思います。

経営学部 経営学科 埼玉県立越ヶ谷高等学校出身

卒業論文テーマ

- 商業施設は鉄道業界の顧客ロイヤリティ向上に影響するのから～東急電鉄と東京地下鉄～
- 企業の存続におけるオープンイノベーションの有効性～島津製作所を中心とした調査から～
- 鹿島アントラーズと横浜F・マリノスのうち1リーグで生き残るのはどちらか～経営の視点からの考察～
- クラスタ理論を用いた千曲川ワインバレーの形成要因に関する研究
- コモディティ化したデジタル家電業界に求められる意味的価値の創造～3Dテレビの失敗事例から～
- PB戦略の違い～セブンプレミアム&トップバリュ～
- 国内における自動車販売～国内販売の実態と自動車運転技術の普及～
- 地方自治体から地方移住による人口増加に成功するための有効な取り組み
- 宅配便業界における諸課題と改善策～ヤマト運輸を中心に～
- サンロッカーズ渋谷の観客動員数増加につながるイノベーション理論と今後（ほか）

免許・資格

- 【独立専門職】
 - 公認会計士*
 - 税理士*
 - 中小企業診断士*
- 【専門資格】
 - 日商簿記検定2級・3級*
 - ファイナンシャルプランナー*
 - Microsoft Office Specialist(MOS)*
 - 博物館学芸員(任用資格)
 - 図書館司書
- 【教員免許】
 - 高等学校教諭一種免許状(商業)
 - 学校図書館司書教諭
- 【行政職】
 - 国校専門官*
 - 社会教育主事(任用資格)
 - 社会福祉主事(任用資格)

*は資格試験に合格する必要があります。

詳しくはP.16～P.18へ

進路・将来像

- 民間企業全般
(金融機関/証券会社/不動産関連企業/流通・小売関連企業/サービス関連企業/広告・出版関連企業/食品関連企業/IT関連企業)
- 官公庁/各種公務員
- 中小企業診断士
- 販売士
- 消費生活アドバイザー
- 経営コンサルタント
- 起業家
- 職業会計人(税理士・公認会計士)
- 大学院進学
- 高等学校商業科教諭
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書 等

詳しくはP.34へ